学校番号	104

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ(理系)	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	スタンダード数学Ⅱ+B　（数研出版） チャート式　基礎からの数学Ⅱ+B（数研出版） スタンダード数学Ⅲ+C　（数研出版） チャート式　基礎からの数学　数学Ⅲ＋C（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は基本的には教科書に沿って進めていきます。先生の説明をただ聞いているのではなく，自ら考え，主体的に学習をしてください。１年生のときとは違い，扱う問題の量が格段に増え，内容もより高度になっていきます。授業の中で「分かった」と思っていても，それを家に帰ってしっかり復習，演習をしていかないと「自分で解ける」ようにはなりません。また、試験前にまとめて復習することは難しいです。授業を受けて分からない事や質問などがあれば，放って置かず必ずその日のうちに解決していくようにしてください。
・家庭学習における課題は，定期的に提出してもらいます。また、長期休業中にはたくさんの課題が出されます。まとめてするのではなく，計画的にこなしていくようにしましょう。
・問題を解くときはまず自分で考えてみてください。その際，途中式や考え方も書くようにしましょう。分からないときは答えを見てもかまいません。ただし，そこに書いてある解説をしっかり読んで理解してから自分の力で解いてください。

2　学習の到達目標

(1) いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 事象において、いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えを用いて，数学的に考察する力，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
(3) 事象の考察に，指数関数・対数関数，三角関数、微分・積分及び極限等を主体的に活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a: 知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分･積分における基本的な概念，原理･法則などを理解し，基礎的な知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分における考え方や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　式と証明	第１節　式と計算 １　３次式の展開と因数分解 ２　二項定理 ３　多項式の割り算 ４　分数式とその計算 ５　恒等式 第２節　等式・不等式の証明 ６　等式の証明 ７　不等式の証明	a：三次の乗法公式及び因数分解の公式、多項式の除法に関する基本的事柄を理解し,事象を表現・処理することができる。 b:実数や式の性質を理解し，等式や不等式が成立を論理的に考察し，証明することができる。 c：乗法公式や式の証明等に関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
	第2章　複素数と方程式	第１節　複素数と方程式 １　複素数とその計算 ２　２次方程式の解 ３　解と係数の関係 第２節　高次方程式 ４　剰余の定理と因数定理 ５　高次方程式	a:複素数や二次方程式の解と係数の関係性などの事柄について基本的内容を理解し,事象を表現・処理することができる。 b：複素数や二次方程式の解と係数の関係について，数学的な見方や考え方を身に付けている。 c：複素数を含めた内容に関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
	第3章　図形と方程式	第１節　点と直線 １　直線上の点 ２　平面上の点 ３　直線の方程式 ４　２直線の関係 第２節　円 ５　円の方程式 ６　円と直線 ７　２つの円 第３節　軌跡と領域 ８　軌跡と法手式 ９　不等式の表す領域	a：平面上の様々な点，図形および軌跡，領域について基本的事柄を理解し,事象を表現・処理することができる。 b：平面上の様々な点，図形および軌跡，領域について数学的な見方や考え方を身に付けている。 c：平面上の様々な点，図形および軌跡，領域について関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート

2学期	第4章　三角関数	第１節　三角関数 １　角の拡張 ２　三角関数 ３　三角関数の性質 ４　三角関数のグラフ ５　三角関数の応用 第２節　加法定理 ６　加法定理 ７　加法定理の応用	a:三角関数・加法定理に関する基本的事柄を理解し,事象を表現・処理することができる。 b: 三角関数に関する数学的な見方や考え方を身に付けている。 c: 三角関数に関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
	第2章　指数関数と対数関数	第１節　指数関数 １　指数の拡張 ２　指数関数 第２節　対数関数 ３　対数とその性質 ４　対数関数 ５　常用対数	a:　指数関数と対数関数に関する基本的事柄を理解し,数量の変化を表現し、値を求めることができる。 b: 指数関数・対数関数に関する数学的な見方や考え方を身に付けている。 c: 指数関数，対数関数に関心をもち、その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート

3学期	第6章　微分法と積分法	第1節　微分法と導関数 1　微分係数 2　導関数とその計算 3　接線の方程式 第2節　関数の値の変化 4　関数の増減と極大・極小 5　関数の増減・グラフの応用	a: 微分法に関する基本的事柄を理解し,微分法を用いて関数の値の変化を表現し、処理することができる。 b: 様々な事象を、微分法を用いて，数学的な考察をすることができる。 c: 微分法に関心をもち，事象の考察に活用している。また、微分法の有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
		第3節　積分法 6　不定積分 7　定積分 8　定積分と面積	a:積分法に関する基本的事柄を理解し、面積や体積などの数量を求めることができる。 b:様々な事象を、積分法を用いて，数学的な考察をすることができる。 c:積分法に関心をもち，事象の考察に活用している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
	第1章　関数	1　分数関数 2　無理関数 3　逆関数と合成関数	a: 分数関数、無理関数、逆関数の定義や性質を理解し、分数関数、無理関数のグラフを書くことができる。具体的な関数の逆関数を求めることができる。 b: 方程式や不等式の考察に分数関数、無理関数のグラフを用いた見方や考え方ができる。 c: 分数関数、無理関数、逆関数に関心をもっている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度